

第188回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成25年5月9日(木) 11:00~12:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (副委員長)
青木 敬信
片岡 真理
古磯 勝子
島田 恭子

(2) 欠席委員の氏名 早川 富美子 (委員長)
長 茂男

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

5月1日と8日に放送した「ラブ・サイクリスタ」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

これは、栃木県内の自転車プロチーム「宇都宮ブリッツェン」の廣瀬佳正 GM と、「那須ブラーゼン」の若杉厚仁選手を DJ に起用し、毎週水曜日の夜8時から放送している30分の録音番組です。

番組では、オススメの観光スポット情報や、グルメ情報、恋愛相談などを紹介。

この番組を通して、多くのリスナーに自転車プロチームを認知してもらえるよう、個性的な2人のキャラクターを活かしたバラエティトークを展開しています。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

2人の声は、ともに、爽やかで、上品さを感じた。
また、誠実に一つ一つのことを、きちんと伝えようとしており、
その人柄がトークに表れていて、好感が持てた。

委員：

番組を通して、2人の軽妙な話のやりとりが心地よく、聞きやすかった。
特に、若杉選手は最後にトークをまとめるなど、23歳とは思えない落ち着きを感じ、
素晴らしかった。

事業者：

年齢差もあり、これまで師弟関係だった2人だが、番組では対等にトークをしてもらっている。
スポーツ選手がDJを務める番組は、これまでにたくさんあったが、2人のように上手に話せる
選手は、なかなかいない。
若杉選手は、普段の話しぶりはおとなしい感じだが、放送では、とてもしっかりと話を伝え、
また、話のフォローも上手で、話し手としても、高い能力を持っていると感じている。

委員：

バラエティ色を強く打ち出した構成で、自転車競技に馴染みのない人でも楽しく感じられる内容
ではあったが、所々に不自然さを感じた。
アスリートが語るスイーツ話にはあまり魅力を感じなかったし、また、一つ一つの話も長く、
だらだらとトークを展開しているようにも感じられた。
また、トーク中の2人の役割が曖昧で、どちらが話しているのか分からなくなる場面があった。
トークの内容や進行などには改良の余地があろう。

委員：

自転車に関する話はとても充実した内容だった。
レース中のエピソードや、アスリートとしての寿命の話、また、競技中に怪我をした時、チーム
メイトのやさしさに触れた話など、その世界に身を置く人たちならではの深い話には、とても説得
力があつた。
実際に自転車競技に携わっている彼らだからこそ話せることなど、競技の奥深さについて、
もっと自由に話してもいいのではないか。

委員：

緩さを感じるトークの中にも、真剣に自転車競技の取り組む2人の姿が伝わってきた。
番組を通じて、自転車競技をアピール出来る内容になっていたと思う。
まだ番組がスタートして間もないとのことだが、今後、慣れることで、より良い番組となること
を期待したい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を6月6日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 5月26日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし